

プロポーザル審査結果報告書

1 業務名

新図書館等複合施設建設工事設計業務委託

2 プロポーザル実施経過

内容	日時
実施要領等の配布	令和3年4月19日(月)
参加表明書に関する質問書の受付期限	令和3年4月26日(月)
質問書に対する回答	令和3年5月11日(火)
参加表明書の提出期限	令和3年5月14日(金)
選定・非選定通知書の発送	令和3年5月21日(金)
技術提案書に関する質問書の受付期間	令和3年5月26日(水)
質問書に対する回答	令和3年5月31日(月)
技術提案書の提出期限	令和3年6月16日(水)
審査会(プレゼンテーション及びヒアリング)	令和3年6月25日(金)
審査結果の発表	令和3年6月30日(水)

3 選考委員会委員

役職	氏名	職名
委員長	黒木 宏一	新潟工科大学 工学科 建築・都市環境学系准教授
副委員長	平田ひろみ	新潟県立図書館副館長
委員	小埜 裕二	上越教育大学 大学院学校教育研究科 人文・社会教育学系教授
委員	大西 明	妙高市社会教育委員 議長
委員	宮田 友子	妙高市主任児童委員
委員	川上 晃	妙高市教育長
委員	吉越 哲也	妙高市総務課長

4 一次審査結果

参加表明書の提出期限である令和3年5月14日までに、5者から参加表明書の提出があり、プロポーザル実施要領及びプロポーザル評価要領に基づき、事務局で参加資格要件の確認と審査を行いました。

評価要領では一次審査において、概ね3～5者を選定することとし、資格審査の結果、参加資格を満たしていた4者を二次審査参加者として選定しました。

5 二次審査結果

二次審査参加者として選定した4者から令和3年6月16日までに技術提案書の提出があり、令和3年6月25日に二次審査（プレゼンテーション及びヒアリング）を行いました。

審査では、技術提案者の取り組み意欲の高さや積極性、業務への工夫、技術提案の的確性、独創性、実現性等についてプロポーザル選考委員会が評価基準に基づき評価を行いました。その後、二次審査における評価点等を参考に委員による協議の結果、最優秀提案者及び優秀提案者を選考しました。

6 最優秀提案者及び優秀提案者

	技術提案者名	二次審査評価点
最優秀提案者	株式会社 佐藤総合計画	804点
優秀提案者	株式会社 梓設計	756点

7 審査講評

今回の新図書館等複合施設に関するプロポーザルにおいて、二次審査に残った4者の提案は、妙高市の新しい図書館等複合施設として魅力のある意欲的なものでした。最優秀提案者、優秀提案者は、その中でも審査員から高い評価を得た提案です。まず、優秀提案者の提案は、北国街道と市役所前の道に対して、児童図書や子育て広場を中心とした「賑わいの道」、読書に集中する静かな開架図書スペース「本の道」の2つの道で繋ぐというもので、新しい図書館としての工夫が随所に施されている点が評価されました。次に、最優秀提案者の提案は、豪雪地域妙高市の風土・気候に裏打ちされた建物の形状、雪処理に関するリアリティーのある対処方法、賑わいの空間から静かな空間までの立体的なゾーニングと繋げ方、妙高の風景を体感できる空間的工夫など、より現実性のある提案として評価されました。

一方で、最優秀提案者の案に対して、「コンパクトな建築として提案されているが、西側の駐車場スペース空間を有効活用し、より広がりのある図書館建築にしていってはどうか」、「賑わいを生み出す屋内外空間をより充実させ、市役所側との繋がりを意識してはどうか」、「プレイルーム（子育て支援）と児童図書の空間的連携を考慮してはどうか」といった、より良い図書館等複合施設にするための、いくつかの指摘もなされました。

あくまでもプロポーザル方式は提案そのものを選ぶのではなく、人・業者を選ぶ点に特徴があります。今回最優秀提案者として選ばれた事業者の技術や発想を活かし、行政や市民との対話の中で、妙高市の新たな図書館等複合施設として、より魅力的な建築になりますよう、心から願っ

ております。

終わりに、本プロポーザルにご参加いただいた設計者の皆様におきましては、限られた期間の中で、貴重な時間を費やし真摯に質の高いご提案をいただいたことに対し、心より感謝申し上げます。

令和3年6月29日

新図書館等複合施設建設工事設計業務委託プロポーザル選考委員会
委員長 黒木 宏一